

院内だより

2014年2・3月

No. 266



総合医療センター 10階西病棟紹介

【はじめに】

10階西病棟は特別室病棟です。全室が有料個室となっています。病床数は28床で、15,000円、20,000円、25,000円、35,000円の4タイプの病室があります。ベッド、テーブル、椅子はブラウン色で統一され、落ち着きと高級感のある雰囲気になっています。また、最上階ですので病室やラウンジから見える景色はとても素晴らしく患者さん、ご家族、面会の方に喜んで頂いています。

【病棟紹介】

特別室病棟へ入院を希望する患者さんは、他者に気兼ねすることのない個室環境でプライバシーを確保しながら、専門的な治療、看護を受けたいという思いで入院されます。

私たちはそんな患者さんの期待に沿えるよう、接遇と、プライマリーナーシングによる個別性のある看護に取り組んでいます。接遇は笑顔、あいさつ、ことば遣い、身だしなみなど意識して行うことを基本に、相手の立場に立って考え、心くばりもしながら行動しています。面会者のインターホン対応は顔が見えないため、お待たせしたり、口調から悪い印象を与えることがないように、スタッフ同士で体験と練習を行い、丁寧に対応するよう努めています。また、面会者にはこちらから積極的にあいさつ、声かけを行い病室へ案内するようにしています。

プライマリーナーシングによる個別性を重視した看護は、手術、化学療法、リハビリ、終末期など様々な患者さんが入院しているため、患者さん、ご家族一人ひとりの病気、治療に対する不安、思い、希望を聞きながら目標を明確にし、多職種と連携しながら安全で安心して頂ける看護を目指し日々取り組んでいます。

【緩和ケアについて】

10階西病棟は10階東病棟の緩和ケア準備病棟です。平成25年1月に渡邊睦弥先生を迎え、緩和ケア科の患者を受け入れるようになりました。緩

和ケア医師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛緩和認定看護師の指導のもと勉強会を重ね、専門的な看護が提供できるよう取り組んでいるところです。終末期は患者さん、ご家族共に自宅療養、介護は困難との思いから病院で過ごし、病院で看取するというスタイルが多いのが実情です。しかし、今では訪問診療と訪問看護を受けられる安心感から、住み慣れた家、家族、ペットと過ごしたいという患者さん、ご家族が増えてきました。その希望が実現し、安心して在宅療養、看取りができたとき、いい時間を過ごせたと感じてもらっています。そういった状況を作るためには、入院中の症状コントロールはもちろん、患者さん、ご家族と相談しながら在宅療養環境を調整し、退院指導、訪問看護へ連携をとることがとても重要になります。患者さんの残された時間をどのように過ごしたいかという思い、ご家族のどのように支えたいかという思い、同時に抱える不安に耳を傾け、多職種と連携し、少しでも不安なく在宅療養できるよう個別に合わせた支援をしてきたいと考えています。

【おわりに】

総合医療センターになり、10階西病棟は病床数が増え入院対応がスムーズに行えるようになりました。個室を希望する患者さんがいらっしゃいましたら当病棟をご紹介頂ければと思います。また、病室見学を希望する方がいらっしゃいましたらいつでも対応しますのでご連絡頂ければと思います。

スタッフ一同、今後も患者さん、ご家族の思いに寄り添いながら治療、看護を提供していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

